

【第2次札幌新まちづくり計画 平成20年度進行管理評価結果】

『政策目標2 主体的な活動が生まれ、経済の活力みなぎる街』

重点課題2 札幌の経済を支える企業・人の支援

< 施策の基本方針 >

足腰の強い経済の活力みなぎる都市を目指し、地域の事業者を支援する「元気がんばれ資金」の創設や経営相談の実施、地元企業に対する国内外への販路拡大の支援や製造業の高付加価値化の促進など、札幌を支える産業を支援します。また、起業を目指す市民を対象としたさまざまな支援、若者、女性、中高年などに対する雇用機会の創出や就労支援に取り組むとともに、労働に関する問題解決の支援を行い、安心して働ける環境づくりを推進します。

事業費の進捗率

(H19決算額 + H20予算額) 155,408,427千円 / (計画事業費) 332,786,800千円 : 46.7 %

施策別の主な取組内容

19年度(実績)

【施策1】資金面や販路拡大など中小企業への支援の充実
・市内中小企業へ事業経営に必要な資金を融資(新規融資件数8,379件、新規融資額94,534,195千円)。

【施策2】安心して働ける環境づくりの推進

・「仕事の悩み相談室」を平成19年6月開設(相談件数148件)。

【施策3】創業や新たな事業にチャレンジする人や企業への支援

・市内中小製造業者等に対し、「新製品開発・既製品改良に関する事業(6件)」、「ネットワーク構築・推進に関する事業(2件)」、「人材育成・確保に関する事業(2件)」の経費の一部を補助し、競争力・成長性の向上を支援。

20年度(予定)

【施策1】資金面や販路拡大など中小企業への支援の充実
・市内小規模事業者に必要な小口資金を融資するため、小規模経営改善資金を「元気がんばれ資金」へと制度改革(融資枠9億円)。
・民間企業から派遣された人材を中心に(財)さっぽろ産業振興財団内に機動的な組織を新たに立ち上げ、中小企業等とのネットワークづくりや企業マッチング等の事業展開を開始。

【施策2】安心して働ける環境づくりの推進

・「仕事の悩み相談室」の利用時間拡大、相談体制の充実。
・メンタルヘルス研修講師派遣事業の新規実施。

【施策3】創業や新たな事業にチャレンジする人や企業への支援

・起業セミナーの拡充とともに、ハンズオン型の起業支援を行う「女性・シニアのためのさっぽろ起業道場」を新たに開催。
・企業ニーズが高いことから、「新製品開発・既製品改良に関する事業」等の補助採択件数を拡充。

市民・企業等との協働の状況

市民との連携、市民参加

・中小企業ネットワーク構築・推進事業：市長と語る会や有識者会議の結果については、企業のみならず、広く市民に対しても情報公開を行っていく(7月17日すみれホテルにて、市内金融機関の支店長を集め、第1回市長と語る会を開催)。

企業等との連携・協働

・就業者総合サポート事業：就業サポートセンターではハローワーク、民間職業紹介事業者の共同により、職業相談・職業紹介をワンストップで行い、厳しい雇用情勢にもかかわらず、就職者が年間1,000人を超えるなど大きな成果となっている。

市民・企業等が参加しやすい環境づくり

・中小企業金融対策資金：融資の相談・受付を市内25の取扱金融機関・中小企業支援センターとし、企業等が利用しやすいしくみとなっている。20年度には「元気がんばれ資金」を創設するなど、資金ニーズ等に合わせた制度の見直しを行っている。

評価(成果)と課題

【施策1】資金面や販路拡大など中小企業への支援の充実

・資金面での支援では、市内約73,000事業者に対し8,379件の融資を実行し、中小企業の資金調達の円滑化に貢献。
・中小企業に対する融資資金や相談・アドバイス件数は順調に推移しており、セーフティネットの支援は充実しつつある。しかしながら、昨今の札幌経済の動向を見ると、地域経済における域際収支や雇用状況の悪化が懸念されている。

【施策2】安心して働ける環境づくりの推進

・就業サポートセンターでは、厳しい雇用情勢にもかかわらず年間1,000人を超える就職者数を達成。
・「仕事の悩み相談室」を新規に開設するなど、労働者等が抱える様々な問題解決に努め、安心して働ける環境づくりに貢献。
若年層の就業支援により、就業意欲の向上、合同企業説明会等による雇用機会の増大など、就職率向上に寄与。

就業支援事業の中核をなす就業サポートセンターについては、利用者数は増加傾向にあるものの、本市の有効求人倍率は依然として低い水準であり、厳しい雇用状況が続いているため、より効果的な就業支援を行う必要がある。

【施策3】創業や新たな事業にチャレンジする人や企業への支援

・新事業にチャレンジする製造業者への支援により、外需を取り込める自社製品の開発・高付加価値化等が円滑に行われた。
新製品の開発等に関する支援については一定の開発成果が上がっているものの、マッチングや販路拡大等も含めた一体的な支援が必要である。

今後の重点取組

(財)さっぽろ産業振興財団に民間企業から派遣された支援コーディネーター等により中小企業訪問の密度をより高め、市長と語る会や有識者会議も踏まえながら中小企業のニーズを探り、より効果的な施策を企画・立案していく。
さらに、創業した企業や新事業にチャレンジした企業に対しては、支援コーディネーター等を活用しながら、マッチングや販路拡大等も含めた一体的な支援を強化していく。
また、地域経済の動向を分析したうえで、中期的な視点からの本市産業振興施策のあり方について、検討を進めていく。
「安心して働ける環境づくりの推進」という観点では、国や道との連携を一層密にしながら、本市においては女性やシニアの就業支援を強化するなど、それぞれの役割のもとで、より効果的な事業推進に努めていく。

主な達成目標の状況

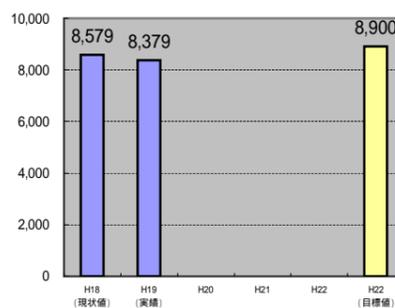
達成目標名	目標値(目標年度)	H18(現状)	H19(実績)
(中小企業金融対策資金・元気がんばれ資金)新規融資額	1,109億円/年(H22)	1094.7億円/年	945.3億円/年
(中小企業金融対策資金・元気がんばれ資金)新規融資件数	8,600件/年(H22)	8,579件/年	8,379件/年
(アジア圏等経済交流促進事業)商談会への延べ参加企業数	230社(H22)	156社	186社
(国内販路拡大支援事業)展示会出展企業数	20社(H22)	10社	10社
就業サポートセンター等の利用者数	100,000人(H22)	91,657人	104,117人
(若年層に対する各種就業支援事業等)受講者数	1,000人(H22)	596人	594人
(若年層に対する就業支援事業受講者)就業率	30%(H22)	-	42.8%
雇用創出事業による就職者数(累計)	3,000人(H22)	944人	1,877人
(ベンチャー支援事業)支援対象件数(累計)	26社(H22)	12社	16社
新製品開発・既製品改良・補助件数(累計)	16件(H22)	-	6件
(コミュニティ型建設業創出事業)業務受注金額	70,000千円(H22)	33,546千円	141,863千円

主な施設・サービスの整備水準

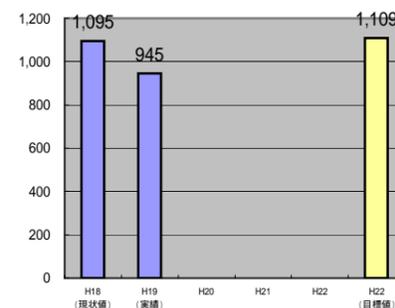
該当なし

成果指標等の動向

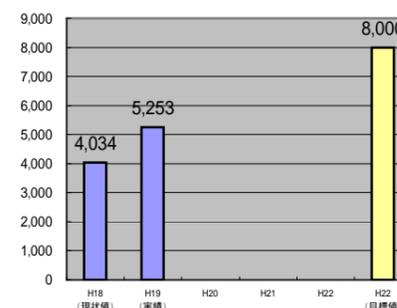
中小企業向け融資制度の新規融資件数(単位:件)



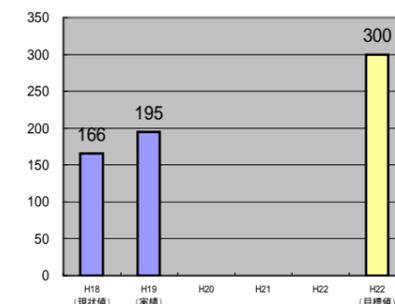
中小企業向け融資制度の新規融資額(単位:億円)



経営や起業に関する相談・アドバイス件数(単位:件)



展示会・商談会への参加企業数(単位:企業)



雇用創出事業及びマッチングによる就職者数(単位:人)

